

日中岡山支部の会員・準会員戦争法案廃案の諸行動に参加



7月25日 日中の旗をもってデモに参加する小林事務局長

8月1日、コムコム会館で「岡山市九条の会連絡会結成総会」が開かれ、地域や職場、分野別などの代表約30人が参加しました。

会の事務局に、宇野支部長、小林事務局長が選ばれました。8月15日に連絡会として初めての行動を行いました。

岡山駅西口さんすて広場にて、平和委員会、革新懇、新婦人とともに行動に参加しました。

総勢30人（うち九条の会より15人）の宣伝行動は賑やかで活気があり、道行く人の目をひきました。

九条の会は連絡会の横断幕やプラカードなどでアピールしました。

一時間の行動で109人の署名が集まりました。

デモに行きましょう！声をあげましょう！
「戦争法案絶対反対」「安倍政治を許さない」「憲法9条、世界の宝」
「平和な日本を守ろう」「子供たちを戦争に行かさない」
「安保法案危ないぞ」



今年2度目のデモに行ってきました。

1回目は7月25日（土）の岡山弁護士会の呼びかけによるデモでした。昼から講演会もありましたが、それには参加できなくて、北区天神町にある西中山下公園に集合してデモだけに参加しました。

主催者発表で1500人というものでした。駅まで電車通りをデモしたのですが、先頭が駅に到着して、流れ解散しても、まだ出発できない人もいたと聞きました。お子さん連れのご夫婦や、若いお母さんが子供をベビーカーに乗せて参加している姿もありました。

2回目が8月30日（日）の午後3時から、岡山駅前のビック

カメラ前に集合です。全国統一行動日として、日本中で行われています。岡山は主催者発表で1000人参加というところです。

リレートークの後、高島屋前に移動して、市役所に向かって行進です。山陽新聞社前をイートヨーカドー側にわたり、今度は駅に向かって行進しました。たくさんの方だったので、私が歩いた周辺だけの印象ですが、今回は高齢の方が多かったように感じました。

日中からは会計監査の原さんと事務局長の小林さんにお会いしました。

このニュースを、NHKは流してくれるのでしょうか？

真田

日中友好新聞

No. 775

2015/ 9/15

発行所
日本中国友好協会
〒110-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

2016年日中カレンダー 「中国悠久の旅」販売開始

2016年度のカレンダー販売が、9月末日から始まりです。今年は、岡山支部300部、倉敷支部100部の目標を立てています。



- ・2003年・・・335部
- ・2004年・・・460部
- ・2005年・・・580部
- ・2006年・・・700部
- ・2007年・・・520部
- ・2008年・・・600部
- ・2009年・・・500部
- ・2010年・・・530部
- ・2011年・・・540部
- ・2012年・・・500部
- ・2013年・・・500部
- ・2014年・・・450部

カレンダー購入の申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部
電・FAX 086-272-3010 (竹内和夫)
電・FAX 086-277-2470 (小林軍治)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部
電・FAX 086-455-7800 (太漏澄夫)
- ☆ 総社日本語教室 事務局
電・FAX 0866-99-2560 (西森文子)

2006年頃までは、中国「残留孤児」訴訟支援活動の一環として取り組み、販売量は年々増加しました。しかし、近年は、日中関係の悪化、孤児訴訟の終結などにより、販売活動が厳しくなっています。

今年は、2011年に結成された「中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会」、日中岡山、倉敷支部の財政に寄与するとともに、中国に対する正しい理解を広げる活動を一層重視して取り組みたい。

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
 メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



開拓団の足跡を訪ねる 日中友好の旅②

日中友好協会岡山支部 小林軍治

ハングルが目 飛び込んできた

8月8日、大連空港で大雨のため約2時間待った後、延

吉へ出発した。

延吉空港に到着すると世界が一変した。ハングルが目

飛び込んできた。延吉市は、吉林省最東部の延辺朝鮮族自治州にあり、朝鮮族が多く住み、ほぼ全員が朝鮮語も漢語も使える。

延吉空港から朝鮮国境の町図們市へは、専用車で移動し、図們国境大橋を参観した。(この参観は次号で報告)

参観後は、ハングルと中国語の表示を左右に眺めながらホテルに到着し、近くの食堂でキムチ、冷麺など14種類の朝鮮料理を満喫した。

翌日の早朝、ホテル前の公園を散策した。太極拳を楽しむ人、頭に荷物を載せて歩く婦人に出会った。

今回の旅の目的は、竜爪開拓団跡地と図們を訪ねることであった。図們市は、中国帰国者(中国残留婦人の二世)の日本語教室の受講生(増田姓)のふるさとである。帰国後、写真を見ながら会話が弾んだ。

日老夫婦为南京民间抗战博物馆送 3000 只千纸鹤

2015-07-11 05:00:53

来源: 现代快报

我要评论



曾田夫妇送来 3000 多只千纸鹤，仔细挂起来 现代快报记者 马晶晶 摄

昨天上午，两位特殊的日本客人，走进南京民间抗日战争博物馆。他们将从家乡带来的两大箱千纸鹤，交给该馆馆长吴先斌。这是他们发动 30 多位日本友好人士，花费一周时间折成的。收到“重礼”后，吴先斌感叹，这是来自日本民间的友好，意义非凡。

现代快报记者 付瑞利

特殊的礼物

日本老夫妻

送来两箱千纸鹤

送来千纸鹤的是一对老夫妻，女士叫曾田和子，72 岁；男士叫曾田康载，70 岁。昨天上午，他们抱着箱子，推门走进吴先斌的办公室。吴先斌有些意外，赶紧迎了上去，“太感动了！太感动了！”

8月9日、南京抗日戦争博物館へ折り鶴約3000羽を届けました。この折り鶴は『平和の波』の活動の流れで、日中岡山太極拳講習会の、岡山市祇園の青木さんが大事に保管してくださっていたもので、この機に中国へ贈ることに竹内理事長が同意してくださり、私が届けることになったのです。

岡山からの一行は私と、倉敷・水島の仁科美奈子さん、そして三江大学で日本語の教師をしている曾田康載と通訳の女子学生1人の計4人でした。昨冬の岡山訪問から7か月ぶりにお会いする呉先斌館長は、たいそう喜んでくださいました。翌朝、彼から早速連絡が入り、きょう記者会見するからすぐ来てほしい、ということでした。

記者はもっぱら私に質問を投げかけ、記事内容は、なぜ私が南京暮らしをしたかについて、そして、今夏、帰国する南京暮らし10年の夫も紹介する、といったようなもの。仁科さんには南京大虐殺記念館訪問の感想を尋ねていました。彼女は80歳ですが、南京事件の真偽のほどを自分の目で確かめたいと言って、私の南京行きに同行したのです。帰国後の彼女は日中倉敷支部の会員になること、新聞購読を再開することを約束してくださいました。

右側の添付資料は、2015年7月11日付け「現代快報」の写真と記事の一部です。

曾田和子

中国百科検定

中国百科検定の受験申込数は、8月10日(最終)で3級、2級の合計521人となりました。岡山県からは、3級10人、2級4人の14人です。

全国(昨年390人)も、岡山県(昨年4人)も昨年を大きく上回りました。

これは、理解は絆を強くする「スローガンのもと中国百科検定を対中感情の改善、戦争法案反対の世論を高める力」と全国各地で頑張った成果だと思えます。



次の新聞送付作業は9月24日(木)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 内井 三
竹坪 三